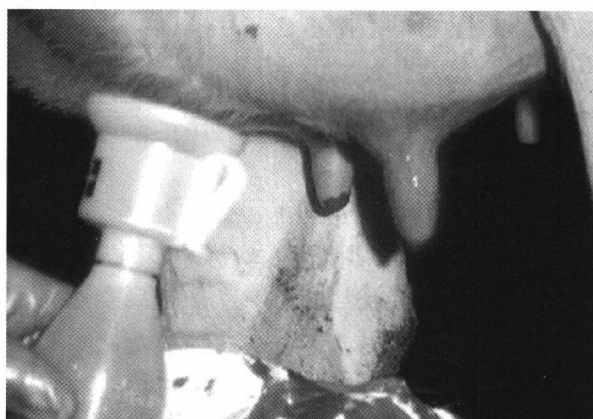


# ディッピングのあれこれ

搾乳後のディッピングは欠かせません。搾乳後のディッピングは、細菌が乳頭内へ侵入するのを阻止するために必要です。また、乳房炎の新規感染を減少させることができます。

## 1. ディッピング

搾乳直後は乳頭孔が開いており、細菌が内部へ侵入しやすい状況にあります。また、搾乳後の乳頭には乳汁がついており、細菌が繁殖するのに絶好の場所になります。そのため、搾乳直後にディッピングを行うことが重要です。ポストディッピングでは次の効果が得られます。



- ①乳頭孔周辺を殺菌する
- ②細菌の乳頭孔への侵入を防ぐ
- ③皮膜をつくり、乳頭を保護する

現在では、搾乳前の殺菌（プレディッピング）も見られるようになりました。これは、乳房炎原因菌を搾乳直前に殺菌する方法で、環境性乳房炎を減少させる効果があります。

## 2. ディッピング液剤の種類と使用方法

### (1) ディッピング液剤の種類

ディッピング液の種類にもいろいろあります。ここでは、市販のヨード系ディッピング剤について一覧にしました（表1）。

ディッピングの目的は、細菌が乳頭内に侵入するのを防ぐことです。

乳頭保護を目的としたローションタイプの液剤もありますが、それには殺菌効果がないものもあります。そのため、目的に応じた使い分けが必要です。

表1 主なディッピング液剤

品名	主成分	販売量単位	希釈倍率	価格(希釈液1ℓ、kg当)
<b>プレディッピング</b>				
クォーターメイト	ヨードホール	1, 5, 15, 55G	原液	378円
<b>ポストディッピング</b>				
コートラック	ヨードホール	0.5, 2.5, 10kg	4~5倍	360円~
クォーターメイト	ヨードホール	1, 5, 15, 55G	原液	378円
アイオディップ	ノノキシノールヨード	1, 5, 15G	2倍	243円
ファインディップ	ノノキシノールヨード	5, 20kg	4~5倍	200円~
デリーガード	ノノキシノールヨード	15G	2~2.5倍	188円~
セラテック	ノノキシノールヨード	1, 5, 15G	原液	432円
コートテンスリー	ノノキシノールヨード	15G	2倍	253円

注意 ①1G(ガロン) =約3.7ℓ ②1ℓ、kg当の価格は参考(南根室地区農業改良普及センター調べ)

## (2) 使用方法

ティートカップ離脱後、すみやかに乳頭をディップします。乳頭の3分の2にディッピング剤がつくように、しっかり行います。

<注意点>

・ディッピング液は、指定された濃度で正しく使う  
→→→適した濃度でないと、その効果が半減してしまいます。

・ディッピング後、液剤が乾くまでしばらく立たせておく  
→→→飼料給与の内容や順番を工夫し、ディッピングの効果を生かしましょう

## 3. ディッパーのタイプ

### (1) 浸漬タイプ

浸漬タイプには、ディッピング液が容器に戻るタイプと、戻りにくいタイプ（ノンリターンタイプ）があります（写真1）。乳汁などの有機物が混入したディッピング剤は、殺菌効果が薄れ、同じ液剤を何日も繰り返し使用するのには、細菌をばらまいているのと同じことです。

浸漬タイプでは、液剤が容器に戻りにくいノンリターン式を用い、搾乳終了後、ディッパーに残った液は捨て、新しいディッピング液を用います。

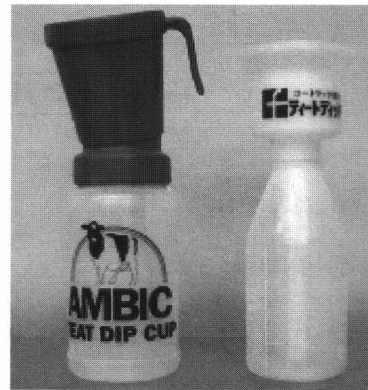


写真1 浸漬タイプ  
(左 ノンリターンタイプ)

### (2) スプレータイプ

スプレータイプにはさまざまな形があります（写真2）。ディッパー内の液が汚れていく心配はありませんが、乳頭全体をしっかりとディッピングしづらく（写真3）、乳頭全体にかけるための使用液量は浸漬タイプよりも多くなります。

ディッピング液の粘性の高いものはスプレーでは使えません。

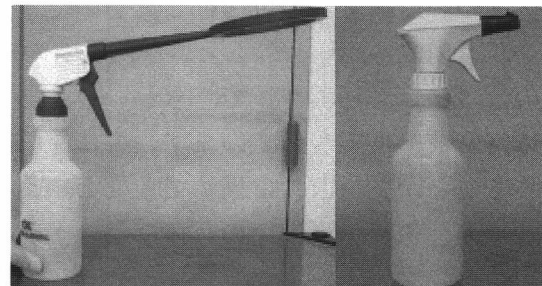


写真2 スプレータイプ

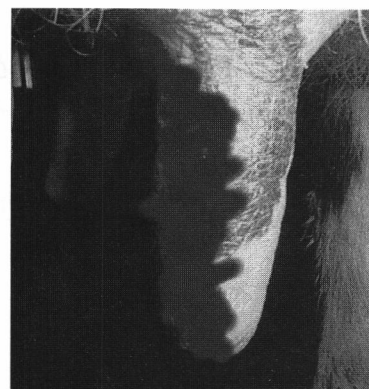


写真3 1方向しかディッピングされていない乳頭

問題となるのは、ディッピング液剤の種類や使っているディッパーではなく、乳頭の3分の2がきちんとディップされているかどうかです。全体をカバーしなければ効果が半減することを常に意識して実施します。